

第16話 津田沼旅行代理店

インドへは家内と一緒にかなり大勢の友達を案内しました。僕がインドの話をすると言いたいと言ってくれるのですがいざ行くと決まると、今度は僕の方が楽しく無かったらどうしようと心配になったものです。僕は仕事で行く訳ですから友達のお世話はもっぱら家内の担当でした。さすがに完璧な添乗員でした。

旅行の楽しみの一つは食べることにありますが、高級インド料理を味わうと最後はアルワリア達が普段食べているものをトライしたいという話になります。そこでこれは日程の最後に組み込んでおきました。もしお腹が痛くなっても、もう帰りの飛行機の中ですから。

当時若い副操縦士はニューデリーを飛んでお腹をこわす人が多かったようです。(ニューゲリーと呼んでいました?) それで会社はデリー線に乗務する前にバンコックを経験させるとスケジュールを組んでいたこともあるようですが、効果がないようで止めたようです。

写真はマンションのお友達で行ったときのもので、タージマハルの近くにあるアグラ城でくつろいでいるところです。この時も楽しい旅行でした。

アルワリアは僕が退職したら旅行代理店をやるといいと半ば真面目に言っていました。美容院をやっていると知ったら驚くだろうな。

